

JR連合 第23回定期大会開催

JRの代表産別として 新年度の方針を満場一致で決定!



単組が諸課題を解決し、安全で社会に貢献するJRを築くため、さらなる飛躍を目指す」と訴え、運動方針の各重要課題について、所信を述べ提起した。

その後、来賓の連合、交通労働協、民主党、社民党の代表者、JR連合国会議員懇談会議員等に順次連帯と激励の挨拶を受けた。

JR連合は、6月17日・18日に「東武ホテルレバント東京」において、第23回定期大会を開催し、「JRの責任産別として、政策制度、組織課題を主導的に解決し、安全で社会に信頼されるJRを築こう！」をスローガンに掲げ、代議員、来賓、傍聴者合わせ、約280名が参加し、建設的かつ熱心な討議を通じ、安全確立、民主化闘争完遂、政策実現、労働

条件の向上を中心とする新年度の運動方針を満場一致で決定した。

JR連合を代表し松岡会長は挨拶で、「JR7単組とグループ85



松岡会長

議事に入り、執行部からの提案を受け、代議員・特別代議員・女性特別代議員の計12名から、運動方針をさらに補強する立場で発言があった。JR四国労働組合からも代議員、特別代議員、傍聴者など11名が出席する中、浅岡代議員が代表し、①春闘について②政策課題について③組織について発言し、討論に参加した。

その後、執行部答弁、井口事務局長の総括答



小川淳也衆議院議員

「JR四国労働組合は連合・定期昇給の絶対確保と賃上げ、時短、制度改革等の総合生活改善闘争として「統一ベア要求3,000円」を掲げて取り組みました。特に「必達目標賃金」に到達していないJR四国労働組合としては、賃上げにこだわり、粘り強く交渉を展開してきましたが、残念ながら統一ベア獲得には至りませんでした。

しかし、総合生活改善闘争と位置付け交渉を強化した結果、JR本体では「超過勤務手当の割増率の改善」、JR四国バスにおいては、長年組合が強く要望してきた「55歳以降の年齢給の改善」「特定日勤務手当の増額」を獲得することができました。

さらに、グループ春闘としてはFAXニュース等を利用して情報交換を密にして取り組んだ結果、定期昇給の確保は勿論であります。



発言する浅岡代議員

浅岡代議員 発言要旨

弁のあと、全議案が満場一致で可決された。

一部の単組において一時金の獲得ができたことは大きな成果だと考えています。

続いて、2015春季生活闘争の取り組みについて、JR四国の平成26年3月期決算では黒字決算となったものの、鉄道運輸収入の減少傾向に歯止めがかからない厳しい経営環境は変わっていません。

このような経営環境の中で、非常に厳しい15春闘の闘いではあります。賃金は最大の労働条件であるとの認識のもと、JR連合の産別方針に沿って精一杯取り組んでいきたいと考えています。

JR連合においても、産別としての求心力を更に高められるよう、春闘方針の確立を要請します。

政策課題解決について

この間の支援策への取り組みに対しお礼を申し上げます。今後とも、経営と労働環境の安定化を図るためにも、将来を見据えた産業政策の実現に向けて具体的な項目を検討していただくことをお願いいたします。

組織について

民主化闘争の完遂に向けて、奮闘されています。JR連合並びに当該単組の皆さんに敬意を表します。そのような中、昨年12月16日に旧ジェイアール東日本ユニオンとジェイアール労働組合が組織統一し、新たな組合「JR東日本労働組合」が結

成されました。

私は、単組間の統一について文句を言うつもりはありませんが、民主化闘争の原点は、JRの職場から革マル派を一掃し、真の意味の民主的な職場を創る事にあつたと考えます。

今なお、革マル疑惑が取りざたされている、旧ジェイアール統一した組合が、JR連合に加盟することが相応しいかは、全く違う次元の問題であります。今年2月に開催したJR連合中央委員会、東海ユニオンの中央委員会個別具体的に懸念を示されましたが、JR四国労働組合も全くの同意見であることを表明しておきます。今年の1月20日に、この間の経緯についての説明として、JR東日本ユニオンの渡辺委員長がJR四国労働組合を訪れ、中濱委員長と私が対応しました。その時渡辺委員長は、

「今回の統一は、中央本部からの指示ではなく現場よりのボトムアップの結果である」と説明しましたが、ではなぜ5月10日に組織の約1割の組合員が脱退し、ジェイアールイーストユニオンの結成となったのでしょうか。旧ジェイアール東日本ユニオンとジェイアール労働組合の組織統一には、なにか邪な力が存在したのではないかと考えたのではありません。そして、何よりも今日までの経緯を冷静に判断すると、JR連合の運動に考え方がより近いのは、ジェイアールイーストユニオンではないのかと考えるのはJR四国労働組合だけでしょうか。従って、JR東日本労働組合の加盟申請については、くれぐれも慎重に取り扱うように要請します。

また、組織運営についても、一点述べさせて

第11回本部執行委員会開催

第11回本部執行委員会は、7月4日(金)第33回定期大会の前段の10時45分より、「三翠園」の会場内で開催し、前回の執行委員会以降の経過報告等を行いました。

なお、第11回執行委員会での経過報告及び議事は次のとおりであった。

- ・ダイヤ改正(団交)
- ・平成26年度夏季手当・夏季賞与(JR四国・ジェイアール四国バス)
- ・出向組合員対話集会(愛媛、高知)
- ・第23回定期大会
- ・自動車連絡会幹事会
- ・【経過報告】(経営協議会)
- ・【議事】平成26年度夏季手



当等の妥結承認について

- ・観光列車の車内業務従事者について
- ・JR四国労働第33回定期大会について

「今回の統一は、中央本部からの指示ではなく現場よりのボトムアップの結果である」と説明しましたが、ではなぜ5月10日に組織の約1割の組合員が脱退し、ジェイアールイーストユニオンの結成となったのでしょうか。旧ジェイアール東日本ユニオンとジェイアール労働組合の組織統一には、なにか邪な力が存在したのではないかと考えたのではありません。そして、何よりも今日までの経緯を冷静に判断すると、JR連合の運動に考え方がより近いのは、ジェイアールイーストユニオンではないのかと考えるのはJR四国労働組合だけでしょうか。従って、JR東日本労働組合の加盟申請については、くれぐれも慎重に取り扱うように要請します。

また、組織運営についても、一点述べさせて

「今回の統一は、中央本部からの指示ではなく現場よりのボトムアップの結果である」と説明しましたが、ではなぜ5月10日に組織の約1割の組合員が脱退し、ジェイアールイーストユニオンの結成となったのでしょうか。旧ジェイアール東日本ユニオンとジェイアール労働組合の組織統一には、なにか邪な力が存在したのではないかと考えたのではありません。そして、何よりも今日までの経緯を冷静に判断すると、JR連合の運動に考え方がより近いのは、ジェイアールイーストユニオンではないのかと考えるのはJR四国労働組合だけでしょうか。従って、JR東日本労働組合の加盟申請については、くれぐれも慎重に取り扱うように要請します。

また、組織運営についても、一点述べさせて

ユニオンスクール開催!

6月7日(土)宇多津町「ホテルサンルート瀬戸大橋」において、管理者組合員(現場長・助役・非現業部門の主席クラス)を対象にした「ユニオンスクール」(「特設コース」(管理者セミナー)が18名参加のもと開催された。始めに、中濱委員長から「管理者組合員に期待すること」と題し、JR四国労組を取り巻く情勢や直近の取り組みについて問題提起するとともに、分会をはじめとする組織における管理者組合員の重要な役割について講演があった。その後、富士社会教育センター志垣講師からの特別講演「管理者組合員に求められるもの」と題し、人材を育成し、



会社と組合を繁栄させていくためには、管理者組合員の役割は非常に重要であり、管理者組合員が労働組合に関わり、組合員との意思疎通を図り、リーダーシップを発揮することが会社の発展に繋がることを自覚し、業務と組合活動に励むことが重要であるとの講演を受けた。

香川支部

爽やかゴルフ大会



私たちが多度津運転区分会では、3月24日から28日までの5日間、まんのう町の琴平カントリークラブにおいてゴルフ大会を開催しました。3日目を除くと、春らしい天候に恵まれ、鮮やかな緑の芝の中、右に左に飛んでいくボールを追いながら爽やかな汗を流しました。また、和気あいあいとプレーする人、黙々と勝負に徹する人と、思い思いのラウンドを過ごして、日々の疲れも忘れてリフレッシュする事が出来ました。その中で、巧みな技術とコース戦略でコンスタントにストロークを縮めて好スコアを出した中平さんが見事優勝しました。

これからも明るく楽しいサークル活動を計画し、組合員の健康と親睦を図っていききたいと思います。多度津運転区分会 二川 淳輝

レク・サークルだより

分会では、4月10日に学習会とウォークラリーを開催しました。学習会では、岡本分会長より春季生活闘争の経過や、職場諸問題・ダイヤ改正についての問題提起を受け、参加組合員からの活発な意見が出されました。学習会終了後には組合員の家族も加わって、桜の花が満開の桃陵公園までのウォークラリーを行い、快晴の青空と桜並木の中を目的地まで散策しました。爽やかな汗をかいた後にはお花見へと移り、バーベキューなどの料理を堪能しながらお互いの親睦を深めあい、



愛媛支部

スキー・スノボ・レク開催!



私たちが愛媛電気分会・保線分会は、2月1日に久万スキーランドにおいて、毎年恒例の合同スキー・スノボレクを開催しました。同じ工務系統ということもあり、お互いに親睦を深めるために、毎年開催しているレクですが、当日は、電気区31名保線区14名の合計45名の参加で盛大に開催することができました。天候も私達を歓迎す

るかのような晴天で、絶好のスキー・スノボ日和で組合員同士の交流を深める楽しいレクとなりました。今後とも私たちは、互いの分会交流を深め、更なる飛躍・発展を目指すため、継続してこのようなレクを企画・開催していきたいと思

の目標達成ができていない組合員が積極的に参加し、4日間で70名の参加がありました。西条ビール園では、しゃぶしゃぶや焼肉を食べながら、できたての生ビールを飲み大いに盛り上がりました。松山運転所分会では、これからも組合員が楽しめるイベントや増収ツアーなどを開催し、組織の充実・強化に結びつけたいと思います。松山運転所分会 福岡 正幸

子供達が犠牲になる事故の撲滅願う 青年女性会議「鉄道版交通安全教室」を開催

本部青年女性会議のボランティア実行委員会メンバーは6月24日(火)、西条市の「鉄道文化館」において、今回で15回目となる「鉄道版交通安全教室」を開催した。このボランティア活動は、青女組合員が業務中に遭遇した、子供が線路内に立ち入ったことによる痛ましい事故やヒヤリとした経験を教訓に「子供が列車に跳ねられた事故」ではな



く、「自分達の仲間が子供を跳ねた事故」として捉え、こういっ

今回の「鉄道版交通安全教室」は、「しげちゃん」「ひろみちゃん」「アンパンマン列車」が登場する人形劇「線路には近寄らない」と「列車は急に止まらない」の2本を上演するとともに、「踏切の渡り方」についての実演では、興味津々、楽しみなが正しい渡り方や線路に立ち入らないこと等を学んだ。ボランティア実行委員会メンバーも、

子供達とふれあう楽しい一時を過ごすことができ、また、鉄道の使命である安全第一、職責の重要性を改めて認識した有意義なボランティア活動となった。

冒頭、浅岡安全推進委員長から、「安全は鉄道事業の最大の使命であり、労働組合としてチェック機能をしつかりと果たし、安全最優先の職場風土構築に

重大労災ゼロ」に向けた取り組みについて④第8回安全シンポジウムについて⑤平成26年度の安全・安定輸送に向けた取り組みについての報告と説明があり、各委員から安全に関する意見や質問があり、活発な議論が展開され、「安全最優先の職場風土構築」に向けて取り組みの強化を図った。

今後とも多くの組合員が参加しやすい行事を企画し、組織の強化・拡大に努めていきます。総務部分会 塩田 よしかず

本社支部

分会レク開催!



総務部分会大阪分会では、5月11日(水)に組合員相互の交流を目的に「甲子園阪神×巨人戦観戦」を開催しました。